

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 289

事務事業名	こどもセンター運営管理事業
-------	---------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	こども未来部		
課名	こども家庭課		
課長名	山下 浩典	内線	170
担当者名	山口 勝成	内線	170

基本目標		人を育むまち
政策	010102	子育てしやすいまちづくり
施策		親と子の健康増進
関連施策		

会計	1	一般会計
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	5	こどもセンター費
事業コード	020000	こどもセンター運営管理事業

事業類型	3	施設維持管理(補修)事業(義務)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	こどもセンター及び周辺駐車場等		
意図 対象をどのような状態にしたいか	施設の適正な維持管理に努め、利用者の安全を確保する。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	センターの維持管理、保守管理を適正に行うとともに、公の施設として、子育てサークル、母子保健推進員、健康体操グループなど市民の活動拠点の場を提供し、それらの活動を支援する。		
事業期間	平成 10 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	大村市こどもセンター条例、大村市こどもセンター条例施行規則		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 登録団体利用件数	計画値	200	200	200	200	
		実績値	204	196	203		
		達成度	102.0%	98.0%	101.5%		
活動指標	② 市の事業の実施件数	計画値	1,500	1,500	1,500	1,500	
		実績値	1,463	1,451	1,483		
		達成度	97.5%	96.7%	98.9%		
成果指標	① 登録団体参加者数	計画値	13,000	13,000	13,000	13,000	
		実績値	12,341	12,631	12,580		
		達成度	94.9%	97.2%	96.8%		
成果指標	② 市の事業参加者数	計画値	20,000	20,000	19,000	19,000	
		実績値	19,159	18,100	16,800		
		達成度	95.8%	90.5%	88.4%		

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	17,835	11,240	10,270	11,818	12,204	12,204	12,204	0
国庫支出金	7,903							
県支出金								
地方債								
その他	186	305	316	313	332	332	332	
一般財源	9,746	10,935	9,954	11,505	11,872	11,872	11,872	
② 人件費(千円)	1,997	1,949	1,923	1,958	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.25	0.25	0.25	0.25				
時間外勤務(時間)	5	30	80	70				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	19,832	13,189	12,193	13,776				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	施設及び設備の老朽化に伴う要改修箇所等については、委託業者による定期点検実施の際に、緊急性及び安全対策に関する指導、助言を得ながら、維持管理及び必要な修理等を実施している。
事業が抱える問題・課題等	施設の年数経過に伴い、建物や内部設備・機器等の補修・交換箇所が増えており、(専門業者による調査を基に)施設・設備の安全対策及び維持管理を含めて、これらの計画的改修整備が必要となっている。乳幼児健診等の際に駐車場が混雑し、利用者間の事故やトラブルの恐れがあるため、事故等の予防対策の工夫が必要と思われる。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1~3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	施設・設備の危険箇所や老朽化による修理箇所等について、引き続き委託業者による定期保守点検や専門業者等による点検調査を実施し、緊急性及安全性等を重視の上、計画的な補修整備を図っていく。駐車場利用に際し、特に地下駐車場の照明や駐車スペース枠線表示等の改善対策を講じることとした。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	引き続き施設利用者の利便性・安全性を図ることができる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。